

日本BS放送株式会社

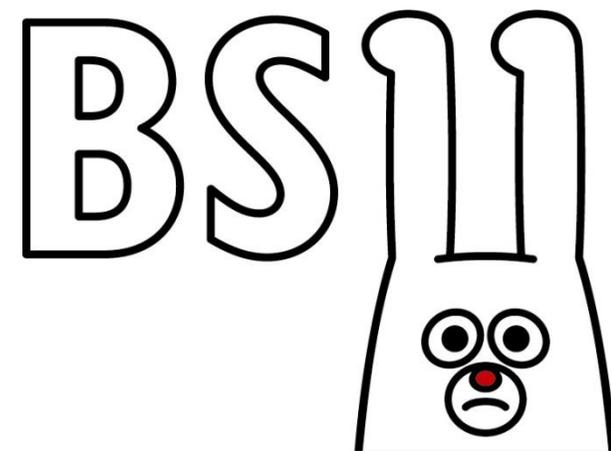
2019年8月期 決算補足説明資料

2019年10月4日



東証一部 コード: 9414

I 決算概況



売上高は**12,601**百万円（前期比0.9%増）、営業利益は**1,693**百万円（前期比30.2%減）、
親会社株主に帰属する当期純利益は**1,158**百万円（前期比30.2%減）

（単位：百万円、下段は構成比）

	2018年8月期	2019年8月期						
		実績	前年同期比	増減額	計画	計画比	増減額	主な変動要因(計画比)
売上高	12,494 (100.0%)	12,601 (100.0%)	+0.9%	+107	14,000 (100.0%)	▲10.0%	▲1,398	(売上高)
売上総利益	6,666 (53.4%)	6,230 (49.4%)	▲6.6%	▲436	— (—)	—	—	・放送事業収入… ▲1,508百万円 ・その他収入… ▲199百万円 ・その他収入(出版)… +308百万円
営業利益	2,427 (19.4%)	1,693 (13.4%)	▲30.2%	▲733	2,005 (14.3%)	▲15.5%	▲311	(営業利益)
経常利益	2,425 (19.4%)	1,698 (13.5%)	▲30.0%	▲727	2,005 (14.3%)	▲15.3%	▲306	・放送事業… ▲387百万円 ・出版事業… +76百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	1,659 (13.3%)	1,158 (9.2%)	▲30.2%	▲500	1,400 (10.0%)	▲17.2%	▲241	

※2018年8月期第2四半期連結会計期間末より四半期連結財務諸表を作成しております。

※計画数値は、期初計画値を使用して実績比較しております。

貸借対照表/キャッシュ・フロー計算書の概要（連結）

貸借対照表

（単位：百万円、下段は構成比）

キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

		2018年8月期末	2019年8月期	
			期末	前年増減額
流動資産		12,114 (63.1%)	12,937 (64.7%)	+822
	固定資産	7,094 (36.9%)	7,055 (35.3%)	▲38
資産合計		19,208 (100.0%)	19,993 (100.0%)	+784
流動負債		2,265 (11.8%)	2,228 (11.1%)	▲37
	固定負債	103 (0.5%)	98 (0.5%)	▲4
負債合計		2,368 (12.3%)	2,327 (11.6%)	▲41
純資産合計		16,839 (87.7%)	17,665 (88.4%)	+825
負債・純資産合計		19,208 (100.0%)	19,993 (100.0%)	+784

	2018年8月期	2019年8月期
営業キャッシュ・フロー	2,049	1,250
税金等調整前当期純利益	2,425	1,699
減価償却費	197	217
売上債権の増減額(▲は増加)	46	▲70
仕入債務の増減額(▲は減少)	34	16
未払金の増減額(▲は減少)	7	249
法人税等の支払額	▲745	▲792
投資キャッシュ・フロー	▲149	▲198
有形固定資産の取得による支出	▲267	▲118
無形固定資産の取得による支出	▲1	▲72
財務キャッシュ・フロー	▲327	▲331
短期借入による収入	-	20
長期借入金の返済による支出	▲5	▲11
配当金の支払額	▲320	▲338
現金及び現金同等物の増減額	1,573	720
現金及び現金同等物の期首残高	8,031	9,604
現金及び現金同等物の期末残高	9,604	10,324

2019年8月期 総括

売上高 **11,792百万円** (前期比 1.8%減)

営業利益 **1,612百万円** (前期比 33.3%減)

- 売上高は、テレビ通販の縮小や広告媒体の多様化による業界環境変化の影響等を大きく受け減収
- 重点経営施策として、良質な自社制作コンテンツへの投資と人気番組の購入を推進
- 番組視聴世帯数増加を目的とした効果的且つ戦略的な広告宣伝を実施

売上高は**11,792**百万円（前期比1.8%減）、営業利益は**1,612**百万円（前期比33.3%減）、
 当期純利益は**1,093**百万円（前期比34.5%減）

（単位：百万円、下段は構成比）

	2018年8月期	2019年8月期						
		実績	前年同期比	増減額	計画	計画比	増減額	主な変動要因(計画比)
売上高	12,015 (100.0%)	11,792 (100.0%)	▲1.8%	▲222	13,500 (100.0%)	▲12.6%	▲1,707	(売上高) ・タイム収入・・・▲934百万円 ・スポット収入・・・▲590百万円 ・その他収入・・・▲181百万円
売上総利益	6,428 (53.5%)	5,821 (49.4%)	▲9.4%	▲606	—	—	—	(段階利益) ・費用は計画内での運用したものの、売上高未達により利益未達
営業利益	2,416 (20.1%)	1,612 (13.7%)	▲33.3%	▲803	2,000 (14.8%)	▲19.4%	▲387	《利益減少の具体的要因》 売上原価： ・良質な番組制作、人気番組の購入に伴う番組関連費用の増加
経常利益	2,420 (20.1%)	1,621 (13.7%)	▲33.0%	▲798	2,000 (14.8%)	▲18.9%	▲378	販売管理費： ・広告宣伝の戦略的实施に伴う広告関連費用の増加
当期純利益	1,670 (13.9%)	1,093 (9.3%)	▲34.5%	▲576	1,400 (10.4%)	▲21.9%	▲306	

※計画数値は、期初計画値を使用して実績比較しております。

	2018年8月期	2019年8月期			
		実績	前年同期比	計画	計画比
売上高	12,015 (100.0%)	11,792 (100.0%)	▲1.8%	13,500 (100.0%)	▲12.6%
タイム収入	8,742 (72.8%)	8,658 (73.4%)	▲1.0%	9,593 (71.1%)	▲9.7%
スポット収入	2,933 (24.4%)	2,762 (23.4%)	▲5.8%	3,353 (24.8%)	▲17.6%
その他	338 (2.8%)	372 (3.2%)	+10.0%	554 (4.1%)	▲32.8%

主な増減要因（前年同期比）

- タイム収入
 - ・テレビ通販の縮小や広告媒体多様化による業界環境変化の影響を受けたことにより売上高は減少するも、良質な自社制作番組の強化により番組提供クライアントの販売単価が堅調に推移し前期比微減にて着地
- スポット収入
 - ・テレビ通販業界の環境変化による売上高減少に対し、効果的な広告宣伝の実施により媒体価値の向上を図り、新規クライアントの獲得に注力することにより減収幅を低減
- その他
 - ・アニメ制作委員会への出資に伴う配当金等収入や良質コンテンツ販売収入が増加

主要費用項目実績（個別）

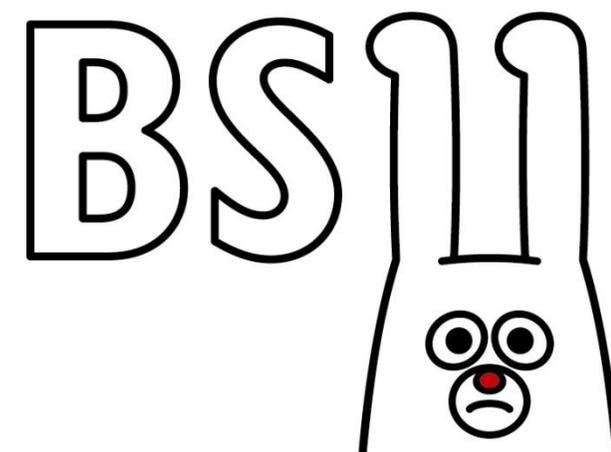
（単位：百万円、下段は売上比）

	2018年8月期	2019年8月期		
		実績	前年同期比	主要な増減要因
番組関連費用(原価)	3,736 (31.1%)	4,122 (35.0%)	+10.3%	
番組購入費	652 (5.4%)	700 (5.9%)	+7.4%	ドラマや映画などの人気作品購入を推進
番組制作費	3,083 (25.7%)	3,421 (29.0%)	+11.0%	良質な自社制作コンテンツの強化を図り、番組内容のより一層の充実による増加(キャスティングの強化等)
放送関連費用(原価)	628 (5.2%)	630 (5.3%)	+0.3%	
放送委託費	555 (4.6%)	555 (4.7%)	-	
技術費	72 (0.6%)	74 (0.6%)	+2.5%	
広告関連費用(販管費)	1,327 (11.0%)	1,501 (12.7%)	+13.1%	
広告宣伝費	1,248 (10.4%)	1,423 (12.1%)	+14.0%	番組宣伝や局認知向上施策として、効果的なタイミングや媒体を見極め、積極的且つ効率的に費用を投下(新聞・WEB・チラシ等)
販売促進費	79 (0.7%)	78 (0.7%)	▲0.8%	

貸借対照表（個別）

		2018年8月期	2019年8月期		
			実績	増減額	主要な増減要因
資産	流動資産	11,438 (61.7%)	12,161 (63.3%)	+723	・現金及び預金の増加 +684百万円 ・売掛金の増加 +18百万円
	固定資産	7,092 (38.3%)	7,060 (36.7%)	▲32	
資産合計		18,531 (100.0%)	19,222 (100.0%)	+691	
負債	流動負債	1,594 (8.6%)	1,516 (7.9%)	▲78	・買掛金の減少 ▲11百万円 ・未払金の増加 +245百万円 ・未払法人税等の減少 ▲263百万円
	固定負債	85 (0.5%)	94 (0.5%)	+8	
負債合計		1,680 (9.1%)	1,610 (8.4%)	▲69	
純資産合計		16,851 (90.9%)	17,611 (91.6%)	+760	・利益剰余金の増加 +755百万円
負債・純資産合計		18,531 (100.0%)	19,222 (100.0%)	+691	

Ⅱ 重点実施事項トピックス



充実の自社制作コンテンツ（レギュラー番組）



多種多彩な特別番組





アニメ制作委員会出資作品

《制作委員会への出資作品(2018年10月～2019年9月)》



©川上泰樹・伏瀬・講談社/転スラ制作委員会



© Spike Chunsoft Co., Ltd./コンセプ制作委員会



(C)川田/集英社・「火ノ丸相撲」制作委員会



©みなつき・ニツ家あす・COMICボラリス/ひざうえ制作委員会



©2018 夏海公司/KADOKAWA/GAF Project



©2018 鴨志田一/KADOKAWA アスキー・メディアワークス/青ブタ Project



(C)円谷プロ (C)2018 TRIGGER・両宮哲/「GRIDMAN」制作委員会



©卯花つかさ・芳文社/アニメエール!制作委員会



©MAGES./Team B-PRO2



©2019 吉岡 剛・菊池政治/KADOKAWA/賢者の孫制作委員会



©2019 リムコロ/KADOKAWA/世話やきキツネの仙狐さん制作委員会



©筒井大志/集英社・ぼくたちは勉強ができない制作委員会



©2019 Five fairy scholars/フェアリーゴーン制作委員会



©めいびい・講談社/かつ神制作委員会



©CHIROLU・ホビージャパン/白金の妖精姫を見守る会



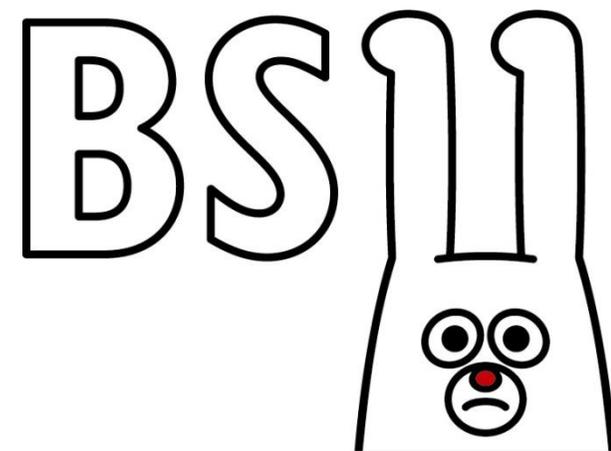
©2019 井中だちま・飯田ぼち./株式会社KADOKAWA/お母さんは好きですか?制作委員会

計16作品に参加

日本各地の放送局とコラボレーション



Ⅲ 次期の見通し



売上高は**13,000**百万円（前期比3.2%増）、営業利益は**2,010**百万円（前期比18.7%増）、
親会社株主に帰属する当期純利益は**1,380**百万円を計画（前期比19.1%増）

（単位：百万円、下段は構成比）

	2019年8月期		2020年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			計画	前年同期比	計画	前年同期比	増減額
売上高	6,076 (100.0%)	12,601 (100.0%)	6,200 (100.0%)	+2.0%	13,000 (100.0%)	+3.2%	+398
営業利益	953 (15.7%)	1,693 (13.4%)	980 (15.8%)	+2.7%	2,010 (15.5%)	+18.7%	+316
経常利益	954 (15.7%)	1,698 (13.5%)	980 (15.8%)	+2.6%	2,010 (15.5%)	+18.3%	+370
親会社株主に帰属 する当期純利益	646 (10.6%)	1,158 (9.2%)	670 (10.8%)	+3.6%	1,380 (10.6%)	+19.1%	+221

売上高は**12,300**百万円（前期比4.3%増）、営業利益は**2,000**百万円（前期比24.0%増）、
当期純利益は**1,380**百万円を計画（前期比26.2%増）

（単位：百万円、下段は構成比）

	2019年8月期		2020年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			計画	前年同期比	計画	前年同期比	増減額
売上高	5,752 (100.0%)	11,792 (100.0%)	5,900 (100.0%)	+2.6%	12,300 (100.0%)	+4.3%	+507
タイム収入	4,253 (73.9%)	8,658 (73.4%)	4,270 (72.4%)	+0.4%	8,860 (72.0%)	+2.3%	+201
スポット収入	1,315 (22.9%)	2,762 (23.4%)	1,430 (24.2%)	+8.7%	3,040 (24.7%)	+10.1%	+277
その他	183 (3.2%)	372 (3.2%)	200 (3.4%)	+9.2%	400 (3.3%)	+7.5%	+27
営業利益	927 (16.1%)	1,612 (13.7%)	980 (16.6%)	+5.7%	2,000 (16.3%)	+24.0%	+387
経常利益	930 (16.2%)	1,621 (13.7%)	980 (16.6%)	+5.3%	2,000 (16.3%)	+23.3%	+378
当期純利益	633 (11.0%)	1,093 (9.3%)	670 (11.4%)	+5.8%	1,380 (11.2%)	+26.2%	+286

2020年8月期は、期末配当金 20.0円を計画

配当政策の基本方針

- ・ 当社は、BSデジタル放送事業者という高い公共性に鑑み 永続的且つ健全な経営の維持に努めるとともに、財務体質の強化と内部留保の充実を考慮しつつ、将来の事業展開等を総合的に勘案した上で、長期にわたり**安定した**利益配当を**継続的に**実施する方針です。
- ・ **年1回**の期末配当を行うことを基本とします。

年間配当金

	2015年 8月期	2016年 8月期	2017年 8月期	2018年 8月期	2019年 8月期	2020年 8月期 (予想)
年間配当	15.0 円	17.0 円	18.0 円	19.0 円	20.0円	20.0円
普通配当	13.5 円	17.0 円	18.0 円	19.0 円	20.0円	20.0円
記念配当	1.5 円	0 円	0 円	0 円	0円	0円
1株当たり当期純利益	68.34 円	82.04 円	85.27 円	93.19 円	65.08円	77.51円

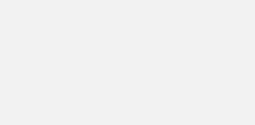
※1株当たり当期純利益の数値は、2017年8月期以前は個別、2018年8月期以降は連結で表示しております。

株主優待制度の概要

- ・ 8月末日、2月末日を基準日として、年2回の株主優待を実施
- ・ ビックカメラグループ全店で利用可能な「ビックカメラ商品券」1,000円券1枚を贈呈
- ・ 各基準日現在の当社株主名簿に記載または記録された当社株式1単元(100株)以上保有されている株主様が対象

長期保有株主優待制度の概要

- ・ 以下の2要件の両方に該当する株主様に対し、「ビックカメラ商品券」(1,000円券)を追加贈呈。
 - ① 基準日(毎年8月末日、2月末日)の当社株主名簿に連続3回以上同一株主番号で記載または記録されたこと
 - ② 当社株式1単元(100株)以上を継続して保有されていること

基準日		2月末日	8月末日
贈呈時期		5月	11月
贈呈内容	株主優待制度	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚
	長期保有株主優待制度	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚

- ❑ 本資料は日本BS放送株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ❑ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- ❑ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社

経営戦略局 経営戦略部

TEL 03-3518-1900

URL <http://www.bs11.jp/>

